

公共交通を考えるワークショップ

第3回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

東秋川橋西側区域

日時：平成30年12月15日（土）
午後7時～午後9時（予定）

場所：野辺地区会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（10月13日（土））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（11月17日（土））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（本日）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

⇒あるべき姿を踏まえて、さらに具体的に考えます。

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月26日（土）午後7時～）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第2回ワークショップまでのふりかえり

- ・この地区の第2回ワークショップまでのふりかえり
- ・（参考）ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

グループワーク

- ・それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとはいますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第2回ワークショップまでのふりかえり

第1回ワークショップで出たご意見 「地域の現状を知ろう」

■ 外出の目的と目的地

- 全体的に「通院」と「買物」目的が多く、外出先についても市内各地及び近隣市町などが主。

■ 交通手段

- 自家用車利用が大半だが、通勤にはJRも利用されている。また、区域内や近隣市町までの移動では自転車が利用されている。

■ 外出で困っていること（主なもの）

- 道が狭く、歩行者が危険、車のすれ違いができないなど問題が多い。
- 車がないとどこへも行けない。
- 免許を返納すると交通手段がなくなる。
- どこへ行くにも坂を上がらなければならない。
- バス停が遠い。
- 雨が降ると自転車が使えない。大雪の時は除雪されない。

第2回ワークショップまでのふりかえり

第2回ワークショップで出たご意見「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

- 【1つ目のグループワーク】この地区の交通に、どのような機能や役割が必要か？
【2つ目のグループワーク】そのうち、特に優先的に必要なものは何か？



この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 1 / 2

分類	優先的に必要なもの
週1日程度、複数便運行する交通	・通院時の交通手段として、1週間に1回位で良いので何便か欲しい。 ・週1回でも良いから<u>1日に何便も</u>。
地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	・地蔵堂を拠点とし、<u>ボランティア等による運転（相乗り）</u>をする。 ・移動販売車を呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。
タクシー代の補助	・通院時等、<u>タクシー代の補助</u>。 ・ドアtoドアの交通確保。

第2回ワークショップまでのふりかえり

第2回ワークショップで出たご意見「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 2/2

分類	優先的に必要なもの
その他	・スーパーやコンビニの移動販売。 ・<u>車いす</u>でも利用できる交通。 ・<u>緊急時</u>にも対応できる交通。 ・<u>バス停への駐輪場</u>の設置。 ・将来の安心の確保。 ・ワゴン車等の<u>小型のるのバス</u>を東秋川橋西側区域に入れる。

第2回ワークショップまでのふりかえり

（参考）ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

別紙「各区域における第2回までの検討結果概要」参照



この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認

- 「目的」
- 「交通サービス」の候補（メニュー） は、
お考えやイメージと、大きなずれはないでしょうか？



（「交通サービス」の具体的な内容については、次のグループワークで！）



この地区の交通サービスの方向性（素案）

1. この地区の交通サービスの目的

狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。

この目的でOK？

2. 主な利用者の想定

- ・ 自分で車を運転できない方※
- ・ （将来）免許返納をした方
- （・ 車いすを利用している方）

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえていますが、よろしいでしょうか？



3. 導入を検討したい交通サービス（候補）

分類	サービス内容	備考
1) <u>地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</u>	・地蔵堂を拠点とし、<u>ボランティア等による運転（相乗り）</u>をする。 ・移動販売車と呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、<u>複合的な地域コミュニティサービス</u>を展開する。	・対応できる運転ボランティアの登録。 ・有償／無償は別途検討。
2) <u>タクシー代の補助</u>	・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。	・利用券の配布。
3) <u>定路線型の交通</u>	・ワゴン車等の<u>小型の車両</u>で、決まった路線を運行する。	
4) <u>バス停への駐輪場の設置</u>	・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。	

この4つで検討を先に進めてOK？

内容は、この後のグループワークで

(参考) 移送サービスについて

- あきる野市社会福祉協議会では「移送サービス」を行っています。
- 高齢者、障がい者などでタクシーを含む公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、協力員が福祉車両で自宅から医療機関などへ送迎するサービスです。

(介護保険認定の有無や障がい者手帳の有無等はありませんが、いわゆる「元気な方」は利用できません)。

利用時間：午前9時から午後5時

利用料：800円（30分以上1時間未満）

1時間以上は30分につき400円。

グループワーク

それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 1 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) <u>地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</u>	• 地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 • 移動販売車を呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。	• さまざまな観点から<u>地域や暮らしを支える</u>ことができる。	• <u>安全性に懸念。</u> • 運行の仕組みづくりが必要。

① 具体的なサービス内容について、ご意見をください。

② これ以外のメリット、デメリットを挙げてください。

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 2 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
2) <u>タクシー代の補助</u>	タクシー代を補助する。	- 比較的、<u>導入しやすい</u>。 - 対象者の規模により、経費が変わる。 ⇒基準をどのように考えますか？	タクシーがいないと、待ち時間が発生する。
3) <u>定路線型の交通</u>	ワゴン車等の小型の車両で、決まった路線を運行する。	- 路線が決まっているので、<u>分かりやすい</u>。 - 運転手の確保等が流動的である。	運行の仕組みづくりが必要。
4) <u>バス停への駐輪場の設置</u>	バス停の近くに駐輪場を設置する。	<u>バスが使いやすくなる</u>。	場所の確保が課題。

次回予定

第4回（平成31年1月26日（土）午後7時～）
「地域の交通手段を考えよう」 場所：地蔵堂

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○地区へのアンケート調査の結果報告

○素案の提示

- ・第3回までの内容と地区へのアンケート結果を踏まえてまとめたものをご説明する予定です。

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の交通について地区の案としてまとめる予定です。

※この地区に（公共）交通を入れるにあたり、みなさまにご協力いただける部分があるのかどうか、お聞きする予定です。（考えておいていただけると幸いです）



（参考資料）ワークショップについての補足

1）ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
（平成12年）

るのバス開業

2015年度
（平成27年度）

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
（平成28年度）

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
（平成29年度）

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区
を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「東秋川橋西側区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ①区域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは区域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ②様々な交通手段を考えるために、区域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- ・来年度以降、実証実験の実施について検討します。